



湘南白百合学園中学高等学校

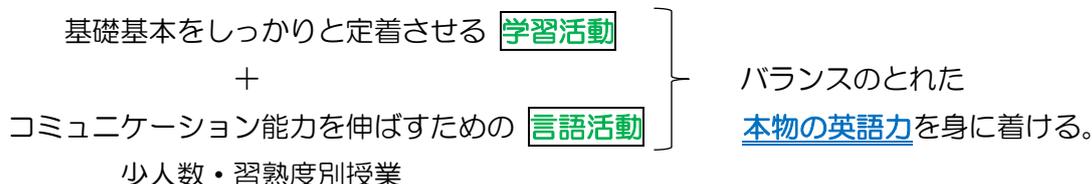
2018（平成30）年度版

帰国生の皆様へ

20180702 現在

<湘南白百合学園の英語教育>

『世界で活躍できる人材を育成する』ことを目標に、英語4技能5領域をバランスよく伸ばすことを重視する。



<英語取り出し授業（Eクラス）について>

- 帰国生や英語が堪能な生徒を対象とした極少人数の特別クラスです。「学力推移調査」やネイティブ教員による「英語面接」などの結果をもとに対象者を決定します。
- 海外のテキストを使用し、ネイティブの教員による授業が多いクラスです。極少人数ならではの主体的活動量の多い、英語のみのハイレベルな授業を通じて、生徒の可能性を最大限引き出します。

E class is an English class designed especially for returnees and students with exceptional English skills to study English in a friendly and supportive atmosphere. In this class, students will engage in peer learning activities to heighten their communication, composition, and reading skills. The class meets 6 hours per week and all instruction is given in English. The students will enhance their fluency and confidence in speaking and writing, learn to use grammar and vocabulary with a wider range and greater accuracy, and develop the ability to read and express opinions and construct sound arguments.

*使用教科書

- (中1) Objective PET(Cambridge) Progress 21(EDEC) / (中2) Complete PET(Cambridge)
- (共通) Longman Active Study Dictionary
- Fundamentals of English Grammar
- 読み物等





<オンライン英会話について>

高校生を対象に実施しています。校内実施のもの、学校を通してご家庭で実施するものなどがあり、今後対象学年を拡大する方向で検討しています。

<留学>

1年間であれば、在籍したまま留学ができます。一定の条件を満たせば学年を落とさず進級することができます。

また**中学3年の3学期を利用したオーストラリアでの『ターム留学制度』**があります。成績や外部の英語試験のスコアなど一定の条件をクリアした生徒が対象となります。

<帰国生の活躍の場>

模擬国連 The World Scholar's Cup 英語ディベート大会 英字新聞発行 英語論文応募
スピーチコンテスト センゲージラーニング読書大会 英文エッセイコンテスト応募など

<海外大学>

米国セントメリーズカレッジとパートナー提携をしています。出願には英語検定などの条件がありますが、学業成績によって、メリット・ベース奨学金が支給されます。また合格決定後も、国内大学を受験できるメリットがあります。

<タラントリリア：語学研修>

学年単位で参加する語学研修は中学2年で実施します。

希望者対象の語学研修は以下の通りです。

中1対象	校内イマージョンキャンプ	春休み中：3日間
中2・中3対象	国内イマージョンプラス	冬休み中：3日間
中2～高1対象	オーストラリアホームステイ	夏休み中：17日間
中3～高2対象	米国セントメリーズカレッジ研修	春休み中：9日間
高1・高2対象	米国スミスカレッジ 「女子グローバル人材養成プログラム」	夏休み中：9日間
中3～高3対象	国内エンパワーメントプログラム	夏休み中：5日間

上記以外に留学や海外大学進学に関する講演会の開催などサポート体制が整っています。





<帰国生入試について>

A方式（国・算・英+面接）と、**B方式（国・算+面接）**の2種類があります。

A方式では、高得点の2科目の合計点で判定をします。

国語・算数ともに、一般入試の問題とは異なります。また、試験問題はA B共通のもので、小学校6年までの学習環境の違いも考慮しながら、基礎力の定着と潜在的な可能性を見させていただくものです。

国語—基本的な漢字・語句の意味に関する設問、文章の内容を正しく理解しているかを問う設問が出題されます。説明文と物語文の両方が出され、内容の要約などの記述問題もあります。

*昨年度の問題 45分 100点満点

(全体に読む文章量が多く、解答に100字を超える記述を求める設問もあるので、時間配分は大切である)

①・②・③ (約20点) / ④・⑤ (約80点)

- ① 漢字の読み・書き取り
- ② 言葉のきまり
- ③ 「青少年の携帯電話・スマートフォンの所有・利用率（小学生／中学生）のデータを見て答える問題 *グラフの読み取り
- ④ 【物語文】瀬尾まいこ『幸福な食卓』（老人との交流会に向けたクラスの歌の練習場面）を読んで答える問題
*内容について、50字以内で説明する問題
*主人公の心情の変化について、100字以内で説明する問題
- ⑤ 【説明文】山内明美『こども東北学』（高度成長期に日本最大のコメの供給地となった東北が、近年農業人口を減らす中、東日本大震災による原発事故に見舞われた。今後自然と人間との繋がりが求められるということ述べた文章）を読んで答える問題
*内容について、120字程度で説明する問題
*傍線部分について30字以内で表現する問題

算数—基礎となる計算力を問う問題と文章題が出題されます。大問の形式は一般入試と同じですが、多少易し目の問題となっています。

*昨年度の問題 45分 100点満点 (問題用紙2枚 解答用紙1枚)

- ① 計算・小問
 - ② 文章題 (割合の問題)
 - ③ 平面図形 (正方形・円の面積および面積比の問題)
- } ①~③で全体の6割程度





- ④ 空間図形（三角柱に水を入れた体積の問題）
 ⑤ 関数（速さの問題、グラフ）
- 注：④ で考え方が正しいか記述させる問題を設けた
 ⑤ では直線定規を用いたグラフ完成の問題を設けた
- } ④・⑤で全体の4割程度

英語—今年度より以下のように、入試形態と内容が変更になる予定です。

Language Skills	4 Basic Skills	time	weighting
Receptive Skills	Reading	20~30 minutes	25%
	Listening	10~15 minutes	25%
Productive Skills	Writing(paragraph)	20 minutes	25%
	Speaking(Interview)	5 minutes	25%
total		60~65 minutes	100%

英語の問題についての新しい情報は、今後も随時ホームページでご案内します。

面接—受験生と保護者1名、教員2名で実施し、時間は10分程度です。「海外生活で得られたものは何か」「入学後に挑戦してみたいこと」などを、日本語でやりとりします。

<進路指導と大学進学> **帰国・編入生全員の進学先**

H26 年度実績

東京大理工 2 類 1 / 順天堂大 医学部 1 / 早稲田大 政経 2 文 1 / 慶応義塾大 総合政策 1
 上智大 国際教養 1

H27 年度実績

浜松医大 1 / 慈恵会医大 1 / 早稲田大 文 1 文化構想 1 国際教養 3 人間科学 1
 慶応義塾大 薬 2 / 上智大 国際教養 1 / 北里大 薬 1 / 日本獣医生命科学大 獣医 1

H28 年度実績

New York 大 1 / Carlton 大 1 / Pennsylvania State 大 1 / Simon Fraser 大 1
 早稲田大 国際教養 2 / 慶応義塾大 法 1 / 上智大 外国語 1
 学習院大 法 1 / 青山学院大 文 1





H29 年度実績

早稲田大 文化構想1 社会科学1 国際教養1 / 上智大 国際教養1

慶應義塾 法1 環境情報1 総合政策1 看護医療1 / 青山学院大 法1 文1 教育人間1

日本赤十字 看護1 / Mount Holyoke College 1

<よくある質問と回答>

1. 願書はどのように入手できますか。

A: 日本におられる場合は、本校でお渡ししていますので、お問い合わせください。海外におられる場合は、郵送でお送りすることもできます。その場合、ご親戚などの日本の連絡先にお送りすることも、海外のご住所にお送りすることも可能です。

また、本年度より Web 出願が可能となりますのでご利用ください。本校ホームページで詳細をご案内する予定（10 月末頃目安）です。ご覧ください。

2. 一般入試の過去問を解いてみれば参考になりますか。

A: レベルや内容が異なりますが、問題の形式は似ています。出題傾向をご覧いただき、参考になさってください。

3. 入学手続き後に保護者の仕事の都合で海外から戻れなくなった場合はどのように対応してくれますか。

A: 入学手続きをした上で、実際の入学を 2 学期から、3 学期からとすることは過去にもありました。状況はさまざまです。個別にご相談ください。

4. 入学後に保護者の仕事の都合で海外へ転出する場合はどのように対応してくれますか。

A: 入学後海外への一家転住が決まった場合は、一旦退学となります。二重の在籍ができないためです。本校への復学を希望する場合は、予定が決まった時点で教頭までお問い合わせください。

年度の開始時期もしくは 2 学期、3 学期の開始時期が復学のタイミングとなります。復学のための試験は、校長・教頭との面接のみです。保護者の方と一緒にお願いします。

復学の時期は遅くとも高等学校 2 年の 4 月までが望ましいと考えています。理由として、将来の進路、特に大学進学に対応する学力を身に着けるためには、本校在学期間が 2 年以上あることが望ましいと考えるからです。また、理系の進路を希望する場合は、高等学校 1 年の 4 月からの復学できるようご協力ください。

以上一般的な事項ですが、個々のケースでさまざまな対応が必要ですので、互いに連絡をとりながらご相談させてください。





5. 入学後のクラス編成はどのようになっていますか。

A：併設小学校からの生徒、一般入試の生徒、帰国子女入試の生徒との混合クラスとなります。帰国生はどのクラスにもほぼ均等に3～4名ずつ在籍しています。帰国生はそれぞれの海外での経験を通して、他の生徒たちにもよい刺激を与えています。お互いにより良く影響し合い、一人一人が成長できる学園生活を送っています。

